様式３(2015.06改)

作成日　平成30年11月24日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372001418
事業所名	グループホームたけのこ

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	ホームは地域に存在感を示している。 調査当日には“ちいきカフェたけのこ”(認知症カフェ)が開催されたが、地域の民生委員や老人会から大勢のボランティアが集った。 予定していた子どもたちの姿はなかったが(1名のみ)、当日の来場者は70名を超えた。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は、地域包括支援センター職員、自治会長、民生委員、保育園長、家族と、利用者の大半が参加している。 利用者も発言の機会があり、スライドを使い、日常の様子や詳細な活動報告が行われている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議には地域包括支援センター職員の参加があり、市役所へは議事録を届けている。 今年度から東三河広域連合が発足し、新たな協力関係の構築が始まる。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	ホーム運営に協力的な家族が多く、運営推進会議にも必ず複数名の家族の姿がある。 調査日当日の“地域カフェたけのこ”にも多くの家族が参加し、人気の“焼き芋”は、家族ボランティアが担当していた。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	